

「香川漆器体験教室～マイ箸とパネル～」を開催しました

平成23年7月7日～マイ箸を作ろう～の回には、岡田 哲吉さん、渡辺 光朗さん、7月14・21日～パネルを彫漆ちようしつで作ろう～の回には、西岡 春行さん、佐々木 博さんを講師にお迎えしました。みなさん香川漆器伝統工芸士として活躍されている方々です。



マイ箸作りでは“研ぎ”を体験しました。漆を塗って乾かした箸の表面を、水で湿らせた紙やすりで擦ります。研ぎ具合によって、朱色の漆の下に塗ってある緑や黒の漆の色が現れます。これらが箸の模様になるため、バランスを見ながら作業を進めました。漆の世界では、この“研ぎ”が出来れば一人前だそうです。

2・3週目は、パネルの彫漆に挑戦しました。あらかじめ何色もの漆が塗り重ねられたパネルの上にデザインをチャコペーパーで転写し、ケン（彫刻刀）で彫ります。デザインに合う色調が出せるよう慎重かつ大胆な作業でした。



研ぎ終わった箸には、艶出しの漆を、パネルには、ポイント部分に金粉を講師の先生が施してください、完成しました。

普段の生活ではなかなか体験できない香川漆器の制作過程を体験できる貴重な機会となりました。講師の先生方、受講生のみなさん、ありがとうございました。